

認知症と、もの忘れの違いについて

- ・記憶には

『記銘力』覚えこむ…海馬にて

『保持力』記憶を保つ

『想起力』記憶を読み出しする

認知症の場合は海馬が障害されるので、記銘力の低下が特徴的

認知症と、うつの鑑別

- ・現状としてオーバーラップすることが多く、抗うつ薬と認知症治療薬を併用することあり
- ・高齢のうつは、よくしゃべることも多い

アパシー（意欲障害）とうつの鑑別

- ・アパシーは家族からの訴えが多い。放置すると筋力低下、寝たきりのリスク
- ・アセチルコリンエステラーゼ阻害薬が効果ある場合あり

せん妄について

- ・ある時点からおかしいとわかる。（夕方～とか）

認知症の症状について

- ・中核症状…記憶障害、失語・失行・失認 人格変化
- ・心理症状（BPSD）…精神症状 行動障害

中核症状から発症する。年を取ったら物忘れをするとは当たり前とは思わないこと。

BPSDの頻度、重症度が介護者の負担増、進行を早めることにつながるので、BPSDのコントロールが重要

認知症の方と対話するために

- ・本人の能力を見極める
- ・対応に王道なし 人間的に興味を持って接する。
- ・相手の立場に立つ。意図のない行動はない。行動ではなく意図に焦点を当てる。
- ・対立関係ではなく、同じ方向を向く

簡単なスクリーニング検査

- ・いくつになりましたか？（生年月日は記憶あり、時間の見当識障害をチェック）
- ・最近のニュースで印象に残っていることは？（近時記憶障害をチェック）

きづいたらかかりつけ医や地域包括センターなどに相談を。

